

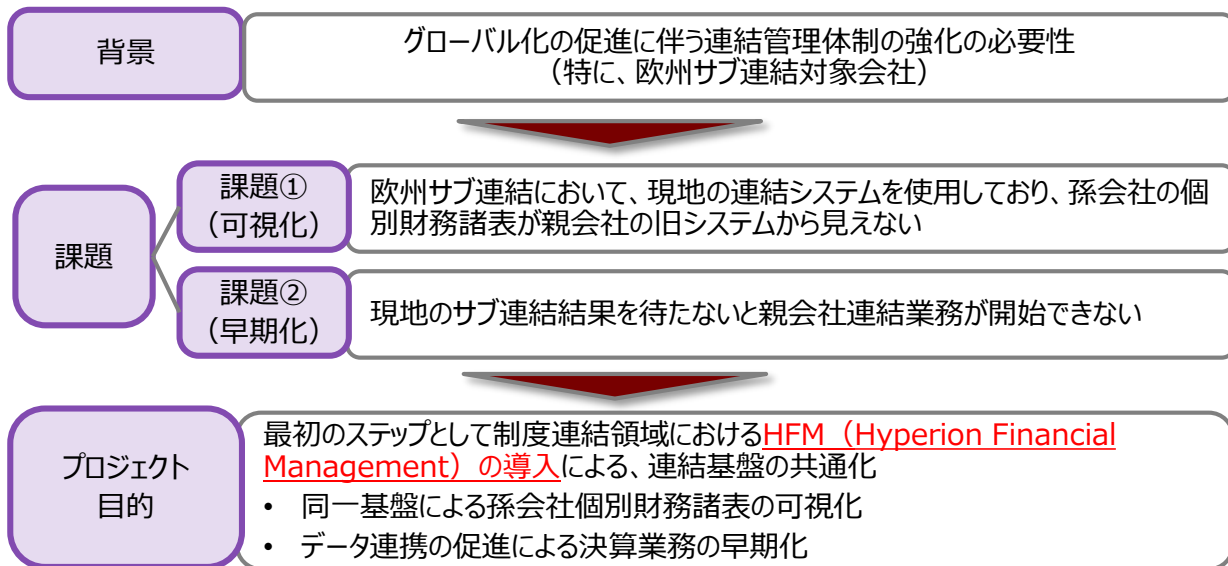
# HFMを用いたグローバル制度連結対応事例

～グローバル展開しているA社における日本連結と各地域サブ連結の連結基盤統一～

グローバルで製造・販売を行っているA社では、海外グループ会社の占める比重が高く、地域別にサブ連結処理を行い、親会社ではサブ連結結果の連結処理を行う連結体制を採っています。その結果、日本親会社では欧州孫会社の財務数値が見えないというグループガバナンス上の課題と、地域サブ連結の現地システムと日本における全社連結システムが異なることに起因する決算早期化上の課題がありました。これらの課題に対処するためにA社では、グループにおける連結基盤をHyperion Financial Management (HFM) で統一することで対応しました。

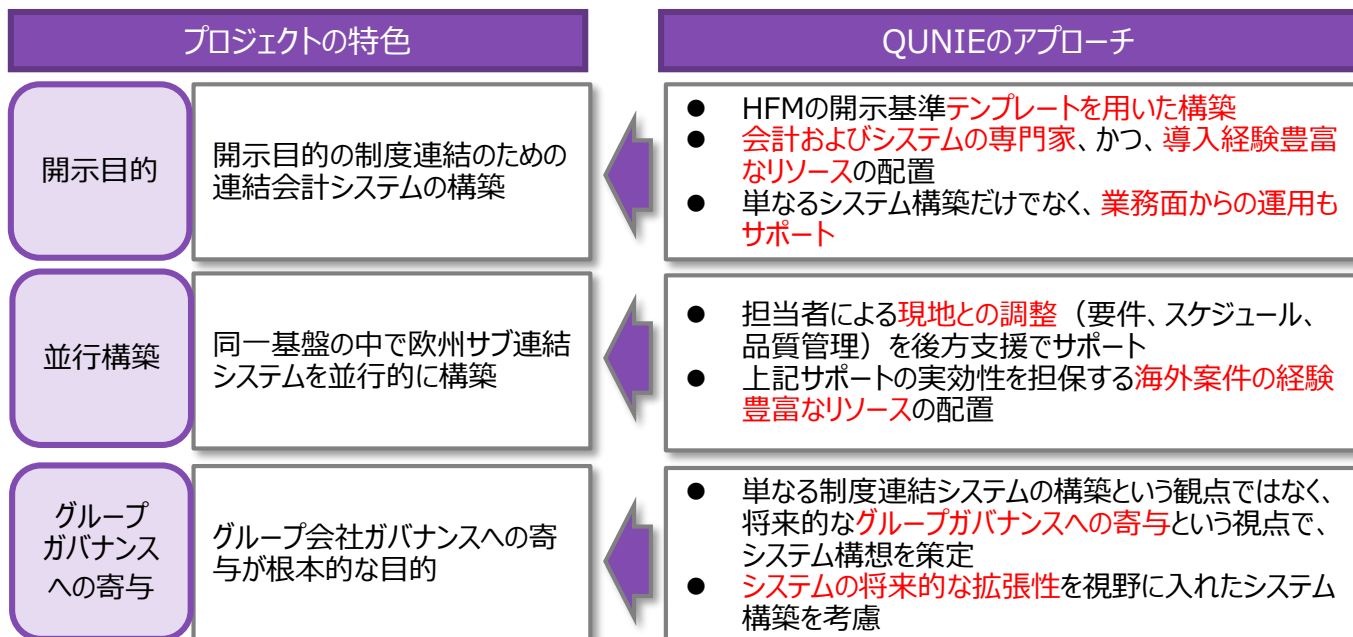
## A社の課題とHFM導入の目的

親会社の制度連結と海外サブ連結を弊社および海外ベンダーが同一基盤上に構築するグローバル連結会計基盤を**Hyperion Financial Management (HFM)** を用いて実現しています。



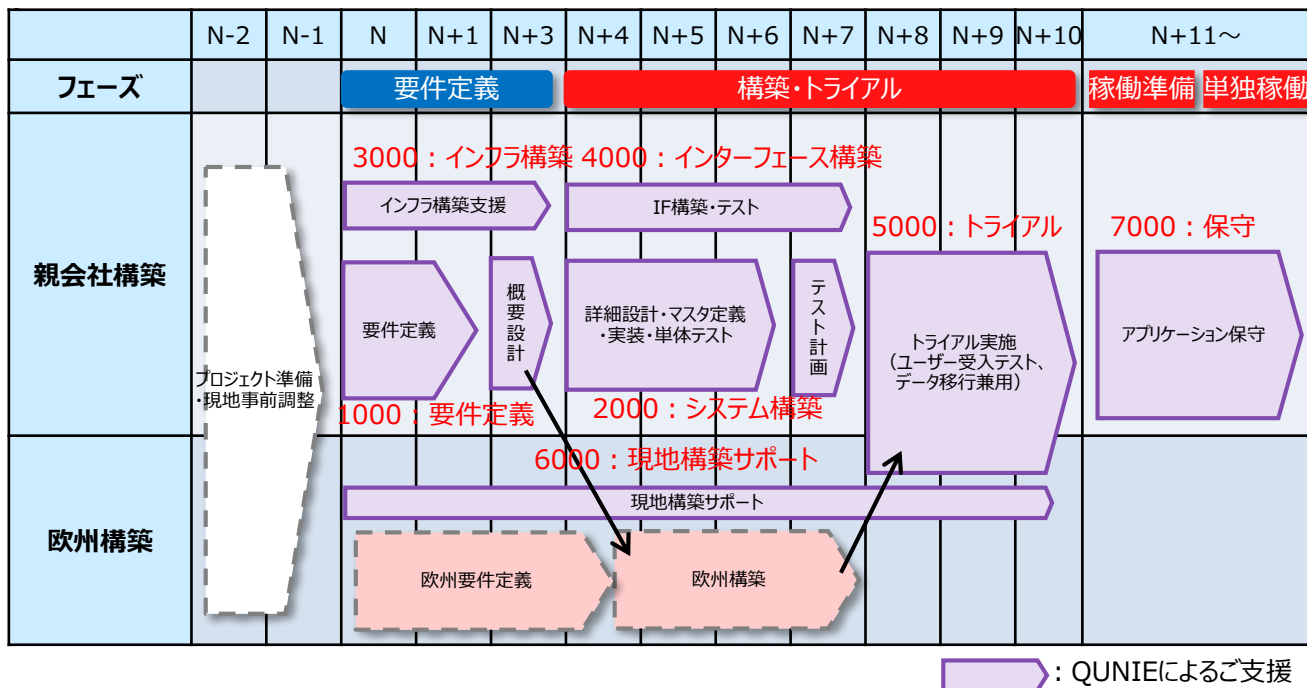
## プロジェクトの特色とQUNIEのアプローチ

HFMの制度連結テンプレートであるSSK (Sales Starter kit) を活用し、プロジェクト期間中は欧州SIパートナーとコミュニケーションをとりながら、システム導入を行っています。



## QUNIEの支援範囲

海外構築領域も考慮した上でシステム構築を進め、海外現地活動に対するご担当者の管理・調整業務をサポートしつつ、業務定着化までご支援しています。



## Why QUNIE ?

HFM・システムの専門家だけでなく、会計士資格を保有したコンサルタントやグローバルでの経験豊富なコンサルタントによる構築支援が求められました。

### QUNIEの優位性

クライアントご担当者負荷の最小化	HFM・システムの専門家だけでなく、会計士資格を保有したメンバ、グローバルでの経験豊富なコンサルタントの参画
業務面も考慮したシステム構築	単なるシステム構築ではなく、業務に精通したコンサルタントによる、業務面も含めた全体最適となるシステム構築
将来的な拡張性	将来的な経営管理の高度化を意識したシステム構築を行うことはもとより、他領域の改革への発展も含めた支援